

六甲山に産する暖地性及び寒地性植物

川 崎 正

前 書

自分は本州の北端、青森縣に生れ、中學時代及び卒業後も二年同地に過ごしたので東北の植物に親しみ、其の後、大正四年から神奈川県と東京に八年間暮し、關東の植物を大分採集し、大正十一年から關西に来て其の間、紀州及び土佐などの暖地性の植物も採集した。

六甲山の植物を採集したのは、大阪府へ赴任した、大正十一年からである。六甲山の植物は北方によく育つ植物と暖地性のものが入り交つてゐることに興味を感じ、牧野博士、田代善太郎先生の御指導を得て、六甲の植物分布地圖を作つて見たのである。それには石川榮之助氏の御助力を得た事も非常に多い。その地圖から暖地性の植物と寒地性の植物をまとめて書いたのが次の通りであるが、猶之の外に附加すべきものが非常に多い事と思ふ。それは今後次第に加へ度いと思ふ。

〔1〕 暖 地 性 植 物

ウラボシ科 イワデンダ、キヨスミヒメワラビ、クリハラン、ツルデンダ、チャセンシダ、ヘランダ。

ヒカゲノカヅラ科 ミズスギ。

マツバラ科 マツバラ。

イチキ科 カヤ。

マ ツ 科 ツガ、モミ。

ヤナギ科 コンゴウバツコヤナギ、ダイセンヤナギ。

カバノキ科 カハラハンノキ。

イスブナ科 シビ、ツブラジビ。

ニ レ 科 ケヤキ。

ウマノスバクサ科 キンキカンアフヒ、アリマウマノスバクサ、フタバアフヒ。

ウマノアシガタ科 スハマサウ。

モクレン科 クニシバ。

クスノキ科 アヲガシ。

アブラナ科 ハマダイコン。

ツルナ科 クルマバザクロソウ。

インモチソウ科 コマウセンゴケ。

マンサク科 マンサク。

イバラ科 アツキナシ、イヌザクラ、ツチグリ、ヤマザクラ、オオフヂイバラ、トウシ
モツケ。

マメ科 キハギ。

ハマビシ科 ハマビシ。

ヘンルウダ科 コクサギ。

ヒメハギ科 カキノハグサ。

ソヨゴ科 タラエフ。

ニシキギ科 ニシキギ。

ツゲ科 コツゲ。

カエデ科 イロハモミヂ、ヒナウチハカエデ。

クロウメモドキ科 オオクマヤナギ。

ブドウ科 オトコブドウ。

サルナシ科 ウラジロサルナシ。

オトギリサウ科 トモエソウ。

ツバキ科 ナツツバキ。

スミレ科 ナガバノタチツボスミレ、ヒメアギスミレ。

デンチヤウゲ科 コシヤウノキ。

グミ科 アリماغミ。

ミソハギ科 ミソハギ、ヒメミソハギ。

ウコギ科 ミヤコグラ。

シヤクナゲ科 ベニドウダン、ヒカゲツツジ、ウスギヤウラク、サイゴクミツバツツジ。

ヤブカウジ科 カラタチバナ。

サクラソウ科 ハマボツス。

イソマツ科 ハマサヂ。

クマツ、ラフヂ科 コムラサキ。

ハツカ科 ツルハツカ、タニシヤカウソウ、ミカエリソウ。

ハマウツボ科 オホナンバンキセル。

ゴマノハグサ科 オホヒキヨモギ。

タヌキモ科 コタヌキモ。

アカネ科 アリドウシ、イナモリソウ、タチフトバムグラ。

スイカヅラ科 ヤブウツギ。

キク科 ノヂギク、オタカラカウ、モリアザミ、シンジュギク、テイシヤウソウ、シ
マカンギク、ハンクワイソウ、フクロウソウ、ハバヤマボクチ、モミヂバタマブキ。

イネ科 ヒゲシバ、ハイチゴササ、ミノボロ。

カヤツリグサ科 ノグサ。

テンナンシヤウ科 ムロウテンナンシヤウ、ムサシアブミ。

ユリ科 シライトソウ。

アヤメ科 ノハナシヤウブ。

ラン科 ウテウラン、ヨウラクラン、ジンバイソウ、ムギラン、コ克蘭、イワチドリ、ヒメケイラン。

〔2〕 寒地性植物

ゼンマイ科 ヤマドリゼンマイ。

ヒカゲノヤヅラ科 マンネンスギ。

イチイ科 ハイイヌガヤ。

ブナ科 イヌブナ。

イラクサ科 ムカゴイラクサ。

モクレン科 コブシ。

ベンケイソウ科 ミツバベンケイ。

ユキノシタ科 ズイナ。

イバラ科 ユワキンバイ、ウハミズザクラ、ケヤマザクラ、ナガホノワレモカウ。

ツヨゴ科 ヒメモチ。

カエデ科 イタヤカエデ、コハウチワカエデ、チドリノキ。

オトギリソウ科 ミヅオトギリ。

スミレ科 アカネスミレ。

ミスギ科 ヤマボウシ。

イワウメ科 イワカマミ。

イチヤクソウ科 ジンヨウイチヤクソウ。

シヤクナゲ科 ゴヤウツ、ジ、バйкаツ、ジ。

ハクカ科 ジヤカウソウ。

ゴマノハグサ科 ミズホ、ズキ、ミヤマママコナ。

スイカヅラ科 タニウツギ、ミヤマシグレ、ムシカリ。

マツムシソウ科 マツムシソウ。

キク科 タマブキ、サワシロギク、カセンソウ、コウリソウ、キクアザミ。

イネ科 オギ。

カヤツリグサ科 エゾアブラガヤ、サギスゲ、シラスゲ。

ラン科 オニノヤガラ、サイワイラン。